



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2665 回例会

2022-23

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ ガバナー 浅原京藏
会長 水谷隆一 幹事 小野 憲
会報委員会 川合礼恵 古藤田博登 木内昭夫 武田友良

2022.9.13 (火) 於 サンパレー富士見

例会場 ホテルサンパレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564
事務局 TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

URL www.izuchuo-rc.org

写真： 柿田川 (伊豆半島ジオパーク)

会長挨拶

副会長 石井政一君



みなさんこんばんは、

水谷会長が高熱のため欠席です。代りに例会を点鐘するようにとの指示の電話がありまたので例会を開会します。昼間はまだ暑いですが、朝晩はだいぶ涼しくなりました。会員の皆様も体調を整えながらお過ごし下さい。

今年度初めての親睦会が 9 月 27 日に ぬびす屋旅館にて予定をしております。時間は 18:00 受付、18:30 開会予定をしております。参加費は会員 7000 円 名誉会員、退会者などに参加してくれる様に声をかけております。一般の方も大歓迎です。『いい食事をする、みんな仲良くなる』のは不思議なことで

ある』と耳にした事があります。ぬびす屋さんの美味しい食事を堪能して楽しい親睦会にしたいと思っております。以上で会長代役の挨拶と致します。

出席報告

	出席総数	出席率	会員総数
今回	22/27 名	81.48%	28 名

今回の欠席者

木内君 小林(則)君 堀江君 水谷君 山田君

卓話

柿沼岳史君

1. 生い立ち

私には生まれ故郷というものはありません、東京・埼玉・神奈川を転々としたためです。生まれは 1966 年 5 月 東京都練馬区、その後幼稚園は東京都清瀬市、小学校は埼玉県南埼玉郡宮代町、中学は東京都豊島区にて過ごしました。高校は慶應義塾志木高、慶應義塾大学の一貫教育校です。学生時代はこの高校から始めたラグビーに費やしました。

2. ラグビー

ラグビーは前回 2019 年ラグビーワールドカップをご覧になられた方が多いと思います。日本ラグビーは 1899 年 慶應で始まりましたので、慶應はラグビールーツ校と言われています。私は高校 3 年間、大学は一年余計に通いましたので 5 年間の合計 8 年間慶應でラグビーに取り組みました。ポジションは 13 番センター、ラグビーというと身体が物凄く大きい人をイメージされるかと思いますが、それはスクラムを組むフォワード選手、私はスクラム後方でパス・キックを専門にするポジションでした、現役時代と今も体重は変わらず 68kg でも出来たポジションです。レギュラーとして試合出場することは出来ましたが普通の選手でした。

ラグビーのもう一つの関わりがコーチです。慶應は創部 1899 年、1999 年が創部 100 周年、日本ラグビー 100 周年という記念の年、その時週末ボランティアでコーチを務めました。しかしコーチ就任した 1997 年は関東で 14 位と低迷していました。しかし翌年全国ベスト 4、そして 1999 年全国大会優勝を果たすことが出来ました。亡くなられた上田昭夫監督 (元フジテレビキャスター) のリーダーシップのもと、各バリューチェーンを強化して組織再生を成し遂げたプロセスは私のキャリアの原点です。

3. 伊豆大仁の経営

大学卒業し1990年伊藤忠商事株式会社入社。建設不動産、食料分野での仕事を経て今年4月から伊豆大仁カントリークラブ社長に就任しました。2004年～2007年までピエトロ東京というパスタレストラン12店舗経営していた会社社長を務めましたので、社長としては二回目、組織の立て直しという意味ではラグビーのコーチを加えて三回目の挑戦となります。

ゴルフはコロナ禍でも堅調と言われますが、伊豆大仁カントリークラブは昨年値段を上げた反動で苦戦していました。昨年9月から12月末まで現地へ長期出張で入り込み課題を整理、良いものをもっていながらそれを生かしていない状況でした。今年の4月社長就任し「三方良し」を目指して経営しています。「三方良し」(売り手良し、買い手良し、世間良し)とは近江商人の言葉、伊藤忠商事の基本理念にもなっています。伊豆大仁の場合は「従業員良し、顧客良し、ステークホルダー良し」の「三方良し」、その中で最初に取り組んだのが「従業員良し」です。

ゴルフ場にいらして頂くとフロント・コース・レストラン等目に触れる場所がある一方、コース管理部のように一切目に触れない場所にある部署もあります。そういう部署の環境改善を行いながら、従業員の方々が生き生きと働ける場所を作り、そしてお客様が満足してプレーして頂ける状況を作っていきます。

経営をしっかりとやった上でロータリークラブの活動にも携わることが出来ます。皆様よりご指導ご鞭撻を頂きながらこの二つの責任を果たしていきます、今後とも何卒宜しくお願い致します。

古藤田博澄君

いろいろなものが値上がりする 4月に上がりまたこの10月にも上がる。

しかも、値上げ幅がすごい。2割・3割は当たり前！中には五割のモノもある。コロナのパンデミックから始まり、ロシアによるウクライナ侵攻で世界が分断化し、再び冷戦の時代となったことをどう受け止めるか今の世界情勢をみれば、モノは上がり続ける。島国日本である私たちは、現状を甘く見過ぎてはいないか？

まあ、一年もしたらもとに戻ると思っている人が多いのに違和感を持つ

タイヤの話しよう

ブリヂストンとココ、一カ月 値上げの話を書きかけに、いろんなディスカッションをしている

『循環』『代替』『自給自足』『物々交換』。

NHKのEテレとかでやたら増えた『SDGsやカーボンニュートラル』をテーマに人類はこれまで、さんざん自然を壊し、地球を痛めつけてきたけど、一度壊した森を再生するのは至難の業だ。天城の山も奥の方に行けば、人が立ち入らない森はいくらでもある。じゃその森は人の手が入らないとやがて滅ぶのかといえば、そんなことはないわけで、しっかりと循環して自然の力のみで持続している。すべての『真理』はココにあるわけで。人は自然の中で生きるモノであって、決して人の社会に自然があるわけではない。

まあそれはそれとしてブリヂストンとは『タイヤの循環』をテーマに話をしている。

ブリヂストンは、リトレッドいわゆるリサイクルタイヤの製造、さらには廃タイヤをチップ化し熱源に利用するといった取り組みを行っている。がそのリサイクル率は低い。原因は、顧客の『リサイクルタイヤ』に対する意識にある。これまで、品質・コスト・手間の点で、真剣に『リサイクルタイヤ』に対して検討したことはない。ましてや『SDGsやカーボンニュートラル』とタイヤを結びつけることなど考えたこともなかった。しかし、時代は急速に変化した。

SDGs 17の目標が、国連総会で全会一致で採択されたのが2015年*2030年までに達成

カーボンニュートラル宣言を先進国が相次いで宣言したのが2020年後半。*2050年までに達成

弊社でもここ10年、環境負荷低減型の生コン工場を目指して、スラッジ水や火力発電所の副産物のフライアッシュを使用した製品を開発することでJISの環境品認定を受けたり、ドットツリープロジェクトを立ち上げたことで、経産省から『地域未来牽引企業』としての認定を受けているがもう一つインパクトに欠ける。

タイヤの話に戻るが、新品のタイヤを購入して、フロントとリアで消耗品度に応じて、ローテーションをして、使い切る。これが、今までのやり方。でもこれではダメ！

タイヤをリサイクルするには、台タイヤの確保が必要。台タイヤとは、タイヤの土台・基礎部分なのだが、乗りつぶしてしまえば、土台が壊れ、リサイクルに回すことはできない。

そこで今回、コトウダとブリヂストンがタイアップして、社有全車両のタイヤの状態を定期的に点検し、タイヤの消耗度を計り、円滑かつ効率よくリサイクルにまわすといった、『タイヤの循環』体制の確立に向けて実証実験をスタートさせようというもの。

この体制が確立すれば、ユーザー側では、必要最低限の新タイヤの使用と最大限のリサイクルタイヤの使用により、タイヤ一本一本も含め、トータル的なライフサイクルコストを抑えることになる。

不安で、先行き不透明な世界情勢の中で事業を継続していくためには、モノは所有するのではなく、使用・利用の権利を『循環』=リサイクル・リユース・リデュース。

すなわちサーキュラーエコノミー(循環型経済)をメーカー側と構築し、必要な対価=利用料を提供するといった『サブスク』的ビジネススタイルを経営手法にとり入れなければならない。

スマイル